

大学施設の紹介

施設の利用に関する最新情報は本学ウェブサイトにてご確認ください。

中嶋記念図書館

どなたでもご利用いただけます。

※ 静かな学習環境を保つため、カメラや携帯電話での撮影はご遠慮ください。

【一般利用時間】

平日 8:30~22:00

(1~2月は8:30~18:00)

土日祝日・長期休暇期間 10:00~18:00

年末年始 閉館



言語異文化学修センター(LDIC)

言語異文化学修センターは、外国語の自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を整えています。

【一般利用時間】

平日 8:30~22:00

(1~2月は8:30~18:00)

土日祝日・長期休暇期間 10:00~18:00

年末年始 閉室



お問合せ

本学教職員の派遣や学生との交流に関するご相談・お問合せ先

国際教養大学
応用国際教養教育推進課
地域連携チーム

Tel. 018-886-5904(平日 9:00~17:00)

Fax.018-886-5910

※ 土・日曜日、国民の祝日、8月13日から15日、12月29日から翌年1月3日及び本学の開学記念日(4月8日)は事務を取り扱いません。



公立大学法人
国際教養大学
Akita International University

発行 2024年6月

発行者 公立大学法人国際教養大学

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥楯岱

Tel. 018-886-5900 / Fax. 018-886-5910

URL: <https://web.aiu.ac.jp/>



公立大学法人

国際教養大学の地域連携活動

2023年4月~2024年3月



はじめに

2004年4月の開学以来、国際教養大学では教育、研究、国際貢献・地域貢献活動の3つを大学の責務として位置づけてまいりました。

私どもはこれまで、中嶋記念図書館、言語異文化学修センター(LDIC)、カフェテリア、カレッジカフェ、SudaHall(多目的ホール)などの学内施設の一般開放はもちろんのこと、本学が有する教育資源を活用してイングリッシュビレッジをはじめとする教育機会の提供、地域活性化、異文化交流の促進、研修の場の提供等々、さまざまな取組を通して秋田県のみならず各地域へ新しい風を吹き込んできたと自負しております。

現代の大学には、教育および研究機能に加えて、社会貢献の機能が求められています。本学は秋田県にある公立大学として市町村や地域のみなさまのお力添えをいただきながら、積極的な交流活動を行い、県境・国境、世代を超えた人々とのつながりを育んでまいりました。同時に、県内出身学生の郷土愛、県外出身学生の秋田に対する新たな見識、そして世界各国からの留学生の異文化理解をより一層深め、「秋田から世界へ」「世界から秋田へ」という流れを実現するよう努力しております。

2022年度に設立された応用国際教養教育推進機構では、能動的学修センター、デザイン創造・データサイ

エンスセンター、地域連携協働研究センターの3つの組織が有機的に連携し、企業等と協働で地域の課題解決に取り組むことで、本学の全人教育のさらなる進化と研究及び社会貢献の高度化に挑戦しております。また、産学連携課題解決プログラム「AIUデザインLAB」や共同研究等の多彩な活動を通して、本学の教育と研究の成果を地域へと還元していく所存です。

私どもは地域に開かれた大学、地域と共に歩む大学として、地域のみなさまとの連携を推し進めていきたいと考えています。本誌には、秋田と世界をつなぐ活動に取り組んできた2023年度の地域貢献活動を取りまとめておりますので、御一読いただければ幸いです。

みなさまの温かい御理解と一層の御支援のほど、よろしくお願いたします。

公立大学法人 国際教養大学

理事長・学長 **モンテ・カセム**



●各ページに掲載している本学教員紹介は、2024年4月1日時点の情報です。
●各ページに掲載しているQRコードは本学ウェブサイト及び主催団体の関連ページにリンクしています。

はじめに…………… 1

教育・国際交流…………… 3-6

イングリッシュビレッジ	3
AIU サイエンス ラボ	3
御所野学院中学校・高等学校との連携	4
高校生と一緒に英語で国際法!	4
地域と学生の交流	4
ティーチャーズセミナー	5
英語指導法・スキルアップ	
オンラインコース&ワークショップ	5
英語教員指導力向上セミナー	5
地域の日本語教育支援	5
公開講座「秋田の再エネと里山を考える」	6
公開講座「映像で見る昭和50年代の雄和」	6

企業連携…………… 7-8

AIUデザインLAB	7
秋田県産品の海外PR	8
TOYOTA SHARE 共同実証研究	8
産学連携寄附講座	8
JR東日本寄附講座	8

学術連携…………… 9-10

デザイン創造・データサイエンスセンターの活動	9
共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)	9
秋田工業高等専門学校との共同研究	10
秋田伝統文化の英語デジタルアーカイブによる	
インバウンドビジネスモデルの構築	10
AIU リサーチ・ショーケース	10

大学施設の紹介 / 各種申込方法 …… 裏表紙

教育・国際交流

本学では200を超える海外提携大学などから留学生が学びに来ており、「世界の縮図」ともいえる多文化共生空間を形成しています。「英語で英語を学ぶ」ことにおいては独自のノウハウを有し、小中高等学校の教育現場に還元できるよう取り組んでいます。また、多様な人材が地域の方々と交流することで、地域の国際化推進に貢献しています。



イングリッシュビレッジ

イングリッシュビレッジ

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業

イングリッシュビレッジは、中高生を対象とした英語研修プログラムです。本学の学生（大学院生、学部生、留学生）が、教員から事前にトレーニングを受け、講師として参加生徒の指導にあたります。国際教養大学というグローバルな環境で、「英語で英語を学ぶ」機会を楽しんでいただいています。



セッションの一場面

対象 秋田県内外の中学生・高校生
開催実績 13回 延べ390名参加



内田 浩樹
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科長・専攻長、英語教育実践領域代表/教授

中高生が実践的な英語を学び、本学の学生が教師としてのスキルを学ぶという、双方にメリットの大きい事業モデルを実現しました。



外部サイトに移動します

AIU サイエンス ラボ

本学の実験室を会場に、小学生向けの科学体験を英語で実施しました。小学生は留学生と一緒に「熱と物体」というテーマで液体窒素を用いた実験に挑戦し、熱を加えたり冷やすことによる物質の変化を学びました。風船を使った実験では、熱の影響で形を変えていく様子に驚きながらも、目を輝かせて観察していました。



液体窒素と風船を使った実験

対象 学童保育(秋田市)の小学生
開催実績 30名参加



アンディ・クロフツ (Andy CROFTS)
国際教養学科長、地域連携協働研究センター長
グローバル・コネクティビティ領域/教授

実験室での実践的な活動は、小学生が楽しみながら科学を見て学ぶ絶好の機会です。これらの体験が、私たちを取り巻く実社会において科学がどのように作用しているかを理解し、解明することについて関心を深めるきっかけになることを期待しています。

御所野学院中学校・高等学校との連携

教員と学生が定期的に訪問し、ゲームやプレゼンテーションなど英語でのコミュニケーション活動を通じて交流しています。



生徒にゲームの説明をする学生

対象 秋田市立御所野学院中学校・高等学校の生徒
開催実績 中学校 9回 延べ555名参加
高校 4回 延べ238名参加



カルロス・バディング (Carlos BUDDING)
言語異文化学修センターコーディネーター
英語集中プログラム、外国語教育/准教授

本学の学生が日英で行う授業・アドバイスは、学生・中高生双方にとって、より身近な雰囲気です。学び合う貴重な機会となっています。

高校生と一緒に英語で国際法!

国際法やその他の法学系科目の一環として、2022年から秋田県内外の高校生を対象としたオンライン・ワークショップを開催しています。本学学生と高校生が法的な問題について英語で議論し、学びを深めています。

対象 秋田県内外の高校生
開催実績 4回 延べ57名参加



オンラインワークショップ



豊田 哲也
図書館長、能動的学修センター長
グローバル・スタディズ領域/教授

国際法を知識として学ぶことも大事ですが、国際法の言葉を使って現実の国際問題を語れるようになることはもっと大事ですね。英語で国際法を語ろう!という試みを、楽しく実践しています。

地域と学生の交流

本学と国際交流に関する連携協定を結んでいる秋田県内の8市町村(八峰町、大仙市、男鹿市、由利本荘市、美郷町、仙北市、大湯村、羽後町)を中心に、多くの学校・団体と様々な交流活動を実施しています。

地域の学校・団体との交流

2023年度はより多くの学校・団体と交流の機会を持つことができました。交流活動を通じて地域の皆様に本学のグローバルな雰囲気を体感していただいたほか、国際交流イベントへの参加、さらには地域の特産品を活かした新商品開発やコミュニティビジネス創出事業について、若者や外国人視点での意見やアイデアを出しながら、皆様と協働する機会にも恵まれました。

【活動例】

- AIU を選んだ理由などの進路講話
- 留学生・日本人学生による出身地の紹介やクイズ
- 日本語を学ぶ留学生と日本文化に触れる活動
- 秋田公立美術大学との学生交流
蒔絵体験・生け花ワークショップ
- 秋田県商工会連合会との地域経済活性化をテーマとした取組
- 外国人観光客向けモニターツアーへの留学生派遣



訪問先の小学校での給食



留学生による母国紹介

地域のイベントなどへの参加

本学の所在地である秋田市雄和地区をはじめ、県内各地の方々や伝統行事やモニターツアー、各種イベントを通じた継続的な交流を行っています。



秋田市小平岱での稲刈り



ウォーカー・ハード (Walker HEARD)
(2023年秋学期/短期留学生)

小中高校生や他大学の学生との交流、そして稲刈りなど地域の方々との活動に参加し、様々な日本文化に触れる機会を得ることができました。やりがいのある活動に関わることができるので、AIUのキャンパスを越えて視野を広げたいと考えている方におすすめです!

2023年度県内自治体・各種団体との交流実績

	学校・団体	開催回数	参加者数	参加学生数	
				留学生	(内留学生)
秋田県内	保育園・幼稚園	8	335	25	23
	小学校	25	850	145	96
	中学校	22	1257	139	20
	高校	10	515	81	10
	その他	73	1191	453	123
県外		7	43	85	17
合計		145	4191	928	289

(延べ人数)



学生との交流活動に関する情報・お申し込み

ティーチャーズセミナー

TOP GLOBAL UNIVERSITY JAPAN スーパーグローバル大学創成支援事業

小学校で英語を担当する先生方が、コミュニケーション中心の実践的な英語の授業ができるように指導スキルの向上を目指します。また、先生方の英語に対する不安を軽減し、ALTとの連携を活発化させ、日々の英語の指導に自信が持てるようにサポートします。



模擬授業

対象 秋田県内の小学校教員
開催実績 小学校外国語活動教員研修事業 40名参加



町田 智久
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
英語教育実践領域 / 教授

「英語を英語で教える」ことの意味やその手法、授業づくり、ALTとのチームティーチングなどについて、秋田県教育委員会と協働で研修を開発し、本学教員がワークショップを実施しました。

英語指導法・スキルアップ オンラインコース&ワークショップ

米国大使館主催

中学・高等学校の英語教員を対象とした英語指導法・スキルアップのための研修プログラムをオンラインで提供したほか、東京・大阪では小・中・高等学校の英語教員や指導主事を対象とした対面式のワークショップも開催しました。



東京会場でのワークショップ

対象 秋田県内外の小中高等学校の英語教員 等
開催実績 ◎オンラインコース 3回 延べ142名参加
◎対面式ワークショップ 7回 延べ60名参加



クリストファー・カール・ヘイル
(Christopher Carl HALE)
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
英語教育実践領域 / 准教授

今年度は私たちが教員向けのプログラムを提供して8年目となりました。新たに6つのオンラインコースを設計し、多くの先生方にご参加いただくことができました。また、コロナ禍以降初めて対面のワークショップも開催し、先生方と再会できたことにとっても充実感を感じました。

英語教員指導力向上セミナー

国際教養大学では小中高等学校の英語教員の指導力向上を目的とした研修を全国の学校・教育委員会等に提供しています。本学教員による英語教育研修を希望される団体は、QRコードより各講座の詳細をご確認のうえ、講師の派遣をお申し込みください。



地域の日本語教育支援

本学の日本語プログラム及び専門職大学院日本語教育実践領域では、教員や大学院生の専門性を活かし、外国人生活者や就労者に対する日本語教育実践や地域人材の養成、ネットワーク構築など、秋田県の地域日本語教育の推進に貢献しています。2022年度からは「なか東北連携」による地域日本語教育専門人材養成事業を開始し、山形大学や岩手大学、地域国際化協会、NPO と連携して地域日本語教育専門人材の養成を行っています。



日本語学習支援者養成講座

対象 地域日本語教育専門人材養成講座参加者
修了者 25名(秋田7名、岩手9名、山形9名)



嶋 ちはる
専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科
日本語教育実践領域 / 准教授

「なか東北連携」の事業では、秋田に暮らす外国人のニーズや言語使用場面などを踏まえて、コースデザイン、教授、評価ができる知識・技術・教育観を有する地域日本語教育専門人材を養成します。

公開講座「秋田の再エネと里山を考える～国境と分野を超えた多角的な視点から～」

講座の前半は再生可能エネルギーについて講演を行い、後半は本学卒業生の大西 克直氏(秋田里山デザイン)に里山に関する自身の取組を紹介いただきました。最後に、持続可能な開発がどのような価値を持つのか、海外の事例も交えながら対談を行い、参加者からは、「再生可能エネルギーと里山という異なる側面から、人と自然の共存について改めて考えさせられ、多くの気づきを得られる良い機会でした。」など多くの感想が寄せられました。



パネルディスカッション

開催日 2023年12月2日(土)
開催実績 111名参加



名取 洋司
グローバル・スタディズ領域 / 准教授

地域が抱える課題とその解決策を、環境と生活の面から地域の方々と議論できた貴重な機会でした。どちらかが我慢するのではなく、両方が栄える解を作っていききたいです。

公開講座「映像で見る昭和50年代の雄和」

研究の一環として、昭和50年代の秋田県旧雄和町の16ミリフィルム映像をデジタル化しました。映像には、高度経済成長期を経て地域が大きく変わっていく様子が収められており、新秋田空港の開港によってインフラが整備され、空港の町として発展していく将来への希望が込められています。公開講座を皮切りに、地域の様々なイベントで上映会を行い、住民が地域の記憶を語り合える場づくりと、その記憶を記録する活動を行っています。



地域の方々と対談

開催日 2023年12月3日(日)
開催実績 78名参加



根本 歩美
グローバル・スタディズ領域 / 准教授

半世紀前に人々が思い描いていた開発による社会の豊かさは、一体何を実現して何を失わせたのか。みんなで映像を見ながら、地域の記憶をつむぎ直し、語り合う場づくりをしています。



■入会のお願い

国際教養大学は、世界中から集まった優秀な教授陣がすべての授業を英語で提供し、徹底した少人数教育を行うなど、従来の大学にはない特徴を備えた大学です。21世紀の大学教育を変えるパイオニア的役割を担った国際教養大学の挑戦は、秋田県はもとより、日本全体でも画期的な取組であります。『国際教養大学サポーターズクラブ』は、この大学が着実に発展するよう物心両面から応援するとともに、大学と会員との交流・連携の促進などを目的としております。何卒、趣旨にご賛同賜り、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

国際教養大学サポーターズクラブ
会長 三浦 廣巳

■年会費

個人一口 3,000円、法人 一口 10,000円

入会を希望される方は、以下のQRコードを使用し表示されるフォームに入力いただくか、事務局へご連絡ください。

国際教養大学内サポーターズクラブ事務局
電話：018-886-5904
FAX：018-886-5910
Email: aiu-supporters-club@gl.iau.ac.jp



企業連携

本学の全人教育の更なる進化を目指し、2022年4月に能動的学修支援センター、デザイン創造・データサイエンスセンター及び地域連携協働研究センターという3つの組織により構成される「応用国際教養教育推進機構」を設置しました。その一つである「地域連携協働研究センター」では、企業・団体と協働で地域の課題解決に取り組むことで、社会貢献の高度化に努めています。

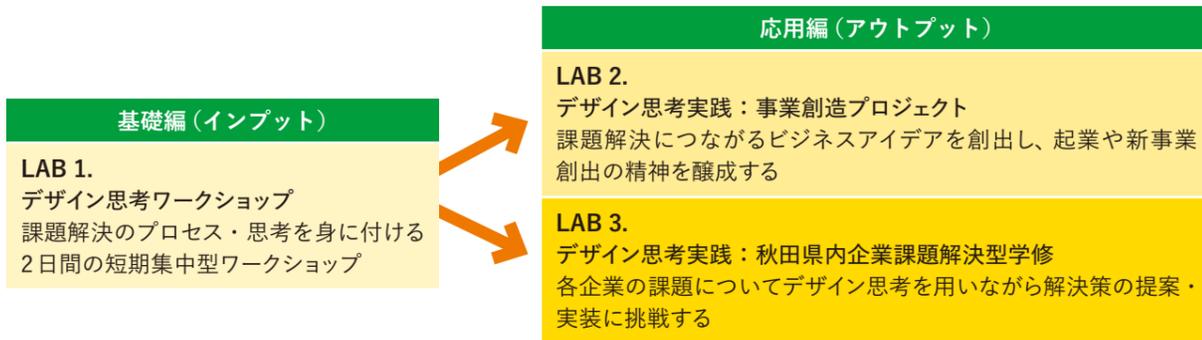


デザイン思考実践(安藤醸造)

AIUデザインLAB

AIUデザインLABは、地域や企業が抱えるさまざまな課題の解決に向けて、学生と企業が協働で取り組む産学連携プログラムです。基礎編のワークショップで、課題解決に有効な手法「デザイン思考」を修得し、そこで得られた着想を応用編「デザイン思考実践」で実際の活動に結び付けていきます。

プログラム構成



これまでの取組例

- ◎“誰もが来なくなるような秋田”を実現するビジネスアイデアを創造せよ!
- ◎“若者が働きたくなる秋田”を実現するビジネスアイデアを想像せよ!
- ◎縮小する国内需要を見越した海外販路拡大に資するプロダクトや販売手法を創造せよ!
- ◎秋田のものづくりの現場に飛び込み・体感し、その魅力を発信せよ!

桑野 夏穂
(2023年入学/学部生)

様々なバックグラウンドを持つAIU生や秋田に根差した企業の方々とディスカッションや実践活動での関わりはとても刺激的で、デザイン思考スキルの向上に加えて、自分の中に新たな価値観を見出すことができました。



デザイン思考ワークショップ

秋田県内の企業の方へ
AIU生と協働で課題解決に取り組みませんか?

お問い合わせ
地域連携チーム
TEL : 018-886-5835
Mail : aiu.collaboration@gl.aiu.ac.jp



秋田県産品の海外PR

秋田県産品の輸出拡大を目指すプロジェクトです。秋田の日本酒をフランスでどのように受け入れてもらえるか探るため、パリでマーケティング調査を実施しました。

霍見 竜弥
(2020年入学/学部生)



フランスでのマーケティング調査

現地の人々の意見や文化に触れ、日本酒が新しい市場で受け入れられる可能性を実感しました。地域ごとに異なる好みやニーズを理解し、それに合わせてアプローチすることが重要だと感じました。

産学金連携寄附講座

三菱商事洋上風力(株)、(株)ウェンティ・ジャパン及び(株)北都銀行との連携協定に基づき、電力・エネルギー全般をテーマとした寄附講座「世界のエネルギー動向：可能性と課題」を開講しました。

名取 洋司
グローバル・スタディズ領域/
准教授



フィールドトリップ

エネルギー問題の解決に向けて多分野の最前線で活躍する方々から、直接講義していただきました。ステークホルダーとのパネルディスカッションも刺激的でした。問題を語るだけでなく解決する人材づくりにつなげたいです。

TOYOTA SHARE 共同実証研究

トヨタ自動車(株)のカーシェアリングシステム「TOYOTA SHARE」を搭載した車両3台を本学駐車場に配備し、学生・教職員の利用統計から共同実証研究を行っています。

中川 秀幸
地域連携協働研究センター
コーディネーター
グローバル・ビジネス領域/准教授



校内のカーシェアポート

カーシェアリングサービスが持続可能な17の開発目標(SDGs)「気候変動に具体的な対策を」や「住み続けられるまちづくりを」という目標の達成に寄与する効果を測定・検証する共同実証研究を行います。

JR東日本寄附講座

「縮小社会における持続可能な地域づくり」に関する研究・教育活動を実施しています。フィールドワークを通じて、学生自らが地域にどのように主体的に関わることができるのかを議論しています。

工藤 尚悟
グローバル・スタディズ領域/
准教授



フィールドワーク

リベラルアーツ教育における批判的思考や学際性の修得には、現場での学びが不可欠です。本学の多彩な科目や眠らない図書館での座学と秋田というフィールドの両方を涉猟し、ぜひ生きた知性を身に付けてください。

powered by 秋田銀行

《秋田県内特化型》就職ポータルサイト

秋田から未来を切り拓け!

スマホで簡単! 2ステップで登録完了!

ステップ1

友だち追加

ステップ2

プロフィール
自己PR
希望条件

登録完了

求人情報検索や選考エントリー機能を使ってみよう!

スカウト受信

あなたの採用を希望する企業から価値あるオファーが届きます!

チャット機能

チャット機能で業務内容や会社の雰囲気気軽に質問!

完全無料/簡単ログイン

全サービス完全無料! LINE連携で煩わしいログイン作業を省略!

くわしくは [キャリアピタAKITA](https://www.caripita-akita.com) で検索!

<https://www.caripita-akita.com>

学 術 連 携

応用国際教養教育推進機構のもと、科学研究と産官学の連携を通じ、地域に根付き世界へと広がる革新的な研究・教育・地域貢献の推進力となることを目的として「デザイン創造・データサイエンスセンター」を設置しています。様々な学術機関との連携事業を通して、多様な研究活動を展開しています。



ソウゾウの森会議

デザイン創造・データサイエンスセンターの活動

デザイン創造・データサイエンスセンター（Creative Design & Data Science Center：CreDDS Center）では、データサイエンスの視点に基づき、教育・研究・地域貢献の充実を目的としたデータの収集・分析及びそれに基づく提言等を行います。学修に関するデータ、産業界や学生の研究活動から収集するデータ等の分析を通じ、さらに、デザインの発想も組み入れながら、教育・研究・地域貢献の充実を図っています。



精山 明敏
デザイン創造・データサイエンスセンター長／特命教授

2023年度は健康づくりを支えるモニター機器やデータ管理システムのプロトタイプを作製しました。もの造りやデータベース・解析ツールの構築を通して産官学の連携推進を目指しています。

デザイン創造・データサイエンスセンターの4つの柱

1. データ集積用のツール開発
2. データベースの構築と共有
3. 解析のためのツール開発
4. 開発ツールによるモデル化と社会実装

共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)

令和4年度COI-NEXT共創分野(育成型)採択「技術×教養×デザインで拓く森林資源活用による次世代に向けた価値創造共創拠点」プロジェクトにおいて、秋田県の3つの公立大学(秋田県立大学(代表機関)、秋田公立美術大学、国際教養大学)と(株)Q0に代表される民間企業や地方自治体がそれぞれの強みを発揮して、地域社会を共に創り、新たな社会への変革を促進する事業に取り組んでいます。このプロジェクトでは、地域の豊かな森林資源の活用を事業の柱として、地域に貢献できる人材育成や新たな産業の創出を目指します。



ソウゾウの森大会議



外部サイトに移動します

ソウゾウの森会議

本事業では、地域人材の育成と協業、起業家精神の醸成を目的に、「ソウゾウの森会議」を開催しています。自分らしい生き方を想像し、秋田という風土のなかでの暮らし方と働き方を創造する人々が集う場所です。

2023年度開催実績

開催日	テーマ	開催地
5月20日(土)	「秋田における起業が果たす役割」	秋田市
6月3日(土)	「モクトサイコウ～新しい木都を考えてみる～」	能代市
6月24日(土)	「水にまつわる物と者(モノとモノ)」	美郷町
8月25日(金)	「風土に根ざした産業と人」	にかほ市
9月23日(土)	「源流域の生態系からこれからの秋田を再考する」	湯沢市
10月28日(土)	「男鹿から食べる森をソウゾウする」	男鹿市
11月24日(金)	ソウゾウの森大会議「ソウゾウをひろく」	秋田市

秋田工業高等専門学校との共同研究

この共同プロジェクトでは、泥湯温泉(秋田県湯沢市)の温泉水や廃棄される温泉泥を利活用した化粧品を研究・開発し、販売につなげることを目的としています。現在、秋田工専からは資源循環工学、本学からは経営学の専門家が、また両機関からそれぞれ2名の学生が参画しています。



アンディ・クロフツ (Andy CROFTS)
国際教養学科長、地域連携協働研究センター長
グローバル・コネクティビティ領域／教授

このプロジェクトが地域経済を活性化するとともに、本学と秋田工業高等専門学校が長期間にわたる積極的な協力関係を築くことで、双方の講義や研究活動のさらなる発展につながると期待しています。

秋田伝統文化の英語デジタルアーカイブによるインバウンドビジネスモデルの構築

本研究は秋田県の技術イノベーション創出・活用促進事業(産学官連携チャレンジ促進事業)に採択され実施しました。本学で制作した約400の秋田の伝統芸能、伝統工芸、食文化などのデジタルデータを基に、県内業者と連携して、新たに外国人のニーズにマッチした英語デジタルアーカイブを構築しました。アーカイブを活用した情報提供をすることで、インバウンドビジネスのサポート体制を整えました。



千葉 加恵子
グローバル・コネクティビティ領域／准教授



外部サイトに移動します

秋田には大切な民俗、食、芸能文化がありますが、関わりのある職人、農家の方、女性に焦点が置かれていません。彼らの貴重な声を多くの海外の方に知っていただけるよう、発信していきたいと思えます!

AIU リサーチ・ショーケース

「AIU リサーチ・ショーケース」(旧: AIU リサーチ・ウィーク)とは、本学の教員と学生が日ごろの研究成果を発表し、国内外のコミュニティで共有するイベントです。2022年からは海外提携校の研究者も招待し、オンラインで開催しています。イベント終了後も、プレゼンテーションをアーカイブとして本学ウェブサイトに公開しています。

開催期間 11月24日(金)～12月15日(金)

発表者 教職員・学生 9組
海外提携校 8組



主なプレゼンテーションタイトル

- 日本の高等教育における ChatGPT
- コンピュータ支援設計、3D印刷、プログラミング、光合成原生生物ユグレナ・グラシリスを用いた実験計画スキルの構築
- シェアリング交通の潜在需要の推定:TOYOTA SHARE 共同実証研究

地域と世界をつなぐ



スポーツ交流

自治体のホストタウン事業のサポートを実施し、交流人口の拡大に取り組みました。



教育交流

タイの大学生の県内企業でのインターンシップをアレンジし、マッチングを行いました。



視察団受入

国際協力機構(JICA)視察団受入や海外公的機関の県内視察のサポートを実施しました。

